

子どもの本だな 137

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

日本のむかしばなし

瀬田 貞二 文

瀬川 康男・梶山 俊夫 絵
(のら書店)

むかし、ある夫婦が水神さまに願をかけ、つぶ（たにし）をさずかったが、20年たっても、大きくならず口もきかなかった。年離れた父親のぐちに「きようは、おれが米もつていくで」とつぶは口をきき、馬につけた米俵の上ののせてもらって長者の家に行き着いた。そして、長者に水神さまの申し子と、もてなされ、娘のゆかを嫁にもらった。ある日、若夫婦は春まつりに出かけたが、ゆかが鎮守様にお参りする間につぶがいなくなっていた。ゆかが気がふれたように、田んぼに入り泥だらけになって探し回っていると、水神さまの後ろから立派な若者が現れた。（二つぶの長者）

子どもたちにすぐれた文学を手渡したいと願った作者による再話。軽やかな挿絵とともに日本の昔話が味わえる。読んでもらえば4歳から。

(西村)

図書館の本棚 464

北朝鮮に出勤します

開城工業団地で働いた一年間

キム・ミンジュ 著 岡 裕美 訳 新泉社 (302.2)

筆者は毎週月曜日の朝、1日にたった1台しかないバスに乗り込んで北朝鮮に出勤する。行き先はソウル市内から約1時間の開城工業団地。2006年に設置された、北朝鮮と韓国との軍事境界線に位置する両国共同の大規模工業地帯だ。

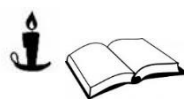
筆者は、1990年代に多くの餓死者を出した食糧難をきっかけに北朝鮮に関心を持ち、飢餓に苦しむ子どもたちを救う栄養分野の専門家を目指すようになった。修士課程を終え就職活動をしていたところ、開城工業団地勤務の栄養士を募集する韓国企業に採用され、平日は軍事境界線を越えて北朝鮮で働き、週末には韓国に戻るといふ特別な経験をするようになった。北朝鮮の子どもたちを救い、南北統一に役立ちたいというひたむきな思いを胸に飛び込んだ筆者だったが、北の職員たちと日々さまざまな格闘を繰り返すことになる。食堂の食材の上前をはねる税関職員、備品を持ち帰って闇市で売る職員、南の化粧品をこけおろす免税店職員。筆者は彼女らの行動や態度に腹を立てつつも、北の人々の経済状況や言論統制を考えれば仕方ないと思い、彼女らに必要な食材や日用品をさりげなく用意する。そんな筆者に北の人たちは戸惑いつつも少しずつ心を開いていくのだが、面と向かって感謝の気持ちを表すことはしない。人前で南の人間に親愛の情を示せば、共和国の規定に背いたとみなされ、南で想像できるような懲戒とは次元の異なる処罰が与えられるからだろう。筆者が赴任してわずか1年後、北朝鮮政府による核実験の実施によって開城は操業停止となり、職員たちと二度と会うことはできなくなってしまった。

自由と民主主義の国で生まれ育った我々にとって、筆者が見聞きする言論統制の敷かれた開城（北朝鮮）の状況は、ソウルからわずか1時間の場所での出来事とは思えない。誰がそばにいないようとも、心の赴くままに話し笑うことができる自由が少しでも早くやってくることを願う。北朝鮮のニュースが流れるたび、開城で働く女性たちに思いをはせるようになった。

(八木)

お知らせ

毎週土曜日に
「おはなしの時間」
を開いています。



5月の おはなし	小さい人(4歳～小学2年生) 11:00～11:30	大きい人(小学3年生～中学生) 11:30～12:00
3日(土)	ヤギとライオン	ねこ先生と、とらのおでし
10日(土)	ヤギとオオカミ	ラプンツェル
17日(土)	チェリヨーシエチカ	ホレおばさん
24日(土)	エパミナンドス	ぐらぐらの歯
31日(土)	がちょうはくちょう	宝化け物

5月の開館日							6月の開館日						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30					

▶ ×印は休館日

- ・祝日の振替休館
5/7、5/8
- ・館内整理日
5/30、6/30

※閉館時は返却ポストを
ご利用ください。

▶ 開館時間：
10:00～18:00
※金曜日のみ
10:00～20:00

5月	6月	5・6月の移動図書館(いずれも木曜日です)				
15日	12日			福地(三反長) 地域内 14:30～ 14:50	米田 公会堂 15:00～ 15:20	竹広南 公民館 15:30～ 15:50
22日	19日			原池団地 公民館 15:00～ 15:20	山田 掲示板前 15:30～ 15:50	原 太田東地区 農村交流 センター 16:00～16:20
29日	26日	広坂 公民館 10:30～ 10:50	上太田 公民館 11:00～ 11:20	塚森 地域内 15:00～ 15:20	太子 ニュータウン 公民館 15:30～ 15:50	吉福 公民館 16:00～ 16:20



地下水

体の不調を調べていると原因として食事、ストレス、運動不足があがってくる。普段の生活で体力を使い切っているのに運動までと気が重くなる。

利用者Sさんとの会話の流れで病気とまではいなくても、なんでも相談できるというお医者さんを紹介してもらった。漢方で診た自分の体質に興味もあり診察を受けてみた。胃が痛む、手足が冷える、休日はほぼ寝て過ごしてしまふなど、問診票に気になる状態をあれこれ書き込んだところ、あれこれ体を診てもらったこともなくあつさり「典型的な気虚」と診断が出た。エネルギーをうまく取り込めない、作り出せない状態だということ。

診察を受け漢方薬を処方してもらうと、不思議なことに気がらくになった。薬の力で少しずつ体質が変わり元気になれるという安心感もだが、やる気のなさも含めた不調の原因が「気虚」にあることがわかったことが大きいように思う。ここ数年、仕事を退かれた先輩方、あれをした、これをしたの楽しそうな話にどれだけ落ち込んできたか。いまこんなに疲れ切つて、退職後にはどうなっているのかと。

漢方薬をのみはじめ食欲が旺盛になっていく。働いているいまは仕事ができるだけの体調を維持しつつ、自分の時間を楽しむ力を取り戻せたらいいなと思っている。

(竹内)